

対象機種	3局用親機	HTV-230M
	3局用増設親機	HTV-230S

このたびは東芝インターホンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。  
お求めのインターホンを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。  
なお、お読みになったあとは必ず保管してください。

### 安全上のご注意

インターホンを

### 安全にお使いいただくために必ずお守りください

- ご使用前にこの「取扱説明書」と「製品への表示」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。



#### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

#### [施工上のご注意]

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。火災、感電の原因となります。重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードは破損します。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となることがあります。
- 差し込みプラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 濡れた手で差し込みプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- 本体の電源端子を指定された機器以外の電源の中継に使用しないでください。火災、漏電、感電の原因となります。
- 電源端子以外の端子に<AC100V等>電源線を接続しないでください。火災、感電の原因となります。
- システムを構成する場合は、指定された機器以外の機器を接続しないでください。火災の原因となることがあります。



禁止

- 移動させるときは、必ず差し込みプラグをコンセントから抜き、<通信線など>外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災、感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

#### [使用上のご注意]

- 機器を操作する場合、濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。
- 機器に設けられた通気孔をふさがないでください。火災の原因となります。
- 本体の通気孔から、金属類や燃えやすいものなど異物をいれないでください。火災、感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。火災、感電の原因となります。
- 機器を改造しないでください。火災、感電の原因となります。
- 送受器を耳に当てているときは、フックボタンを押さないでください。呼出音で耳をいためる原因となります。



禁止

#### [異常時のご注意]

- 電源コードが痛んだら（芯線の露出、断線等）<販売店等に>交換をご依頼ください。火災、感電の原因となります。
- 通話ができない、画像が映らない、呼出ができない、変な音がするなど、機器の動作に異常が起きたら、すぐに差し込みプラグをコンセントから抜いて<販売店等に>修理をご依頼ください。故障した状態でそのまま電源を入れておくと、火災、感電の原因となります。
- 万一内部に水や異物などが入った場合は、まず差し込みプラグをコンセントから抜いて<販売店等に>ご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- 万一煙が出ている、変なにおいがするなど、異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐ差し込みプラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して<販売店等に>修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



指示

## 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 【施工時のご注意】

- 電源の配線工事には、電気工事士等の有資格者であることが法律で義務づけられています。無資格者の工事は、火災、感電の原因となることがあります。



- 通信線の配線工事には、技術と経験が必要ですので、<販売店等に>ご相談ください。
- 通信線は、電気設備技術基準等に従って、電源線から離して設置してください。混触した場合、火災、感電の原因となることがあります。
- 壁掛け型の機器を取り外しておくときは、壁掛け金具を外して置くなどしてください。壁掛け金具に身体を引っかけて、けがや被服を損傷する原因となります。
- 壁面に設置する際には、壁面材の厚み、材質に注意してください。使用中に落下してけがの原因となります。



- 壁掛け型の装置は、落下防止の工事を行ってください。地震等で落下した場合、けがの原因となります。



### 【使用時のご注意】

- 機器の下にくガラス、陶器等>壊れやすいものを置かないでください。送受器の落下で破損し、けがの原因となります。

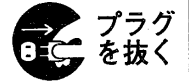


### 【保守・点検時のご注意】

- 機器の内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災等の原因となることがあります。必要に応じて内部の掃除・点検を<販売店等に>ご相談ください。



- お手入れの際は差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



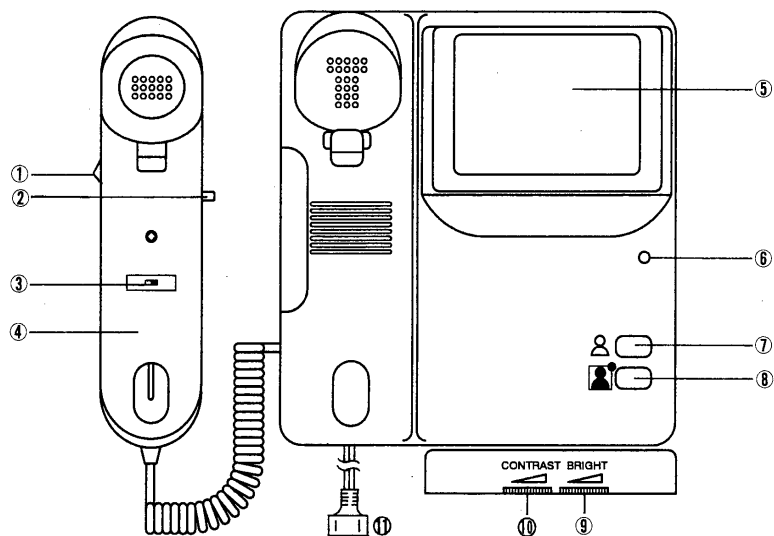
## 注意事項

- 機器間の配線は屋外架空配線やAC100V等の電力線との並行配線はおやめください。並行配線しますと、雷や電力線からの誘導電圧により機器破壊・誤動作・雑音混入・画質劣化する場合があります。
- 電灯線式のチャイムやインターホンの配線はAC100V等の高電圧がかかっている場合があるため、そのまま使用することはできません。チャイムやインターホンをお取り付けになった電気工事店様にご相談ください。誤って、親機、玄関子機間の通信線にAC100Vの電圧が加わると親機、玄関子機共に修理不可能な損傷が発生します。

※電灯線式のチャイムやインターホンとは、今までに一度も電池交換をしたことがない機器等です。特に電源直結式の機器は電源コードやプラグがないので電池式の機器と間違ふ危険がありますので、くわしくは販売店や工事店におたずねください。

- 本体は分解しないでください。内部に高電圧回路部があり、非常に危険です。電源を切にしても、内部の電気回路に高電圧が残留している事があります。
- 電源は必ず家庭用のAC100Vのコンセント、または屋内配線に接続してください。その他の動力用やインバータ式などの電源に接続しますと、破壊・雑音混入・画像乱れが発生する事があります。
- このインターホンの親機は屋内専用で0℃～+40℃の範囲、カメラ付玄関子機は屋内屋外兼用で-10℃～+50℃の範囲で使用するように設計してあります。取り付けの際はご注意ください。
- 本体を落下させないでください。モニタ等にガラスを使用した部品があり割れたり、黒いスジが出る液晶不良、その他回路不良が発生する事があります。この場合には直ちに電源プラグを抜き、販売店や電気工事店にご相談ください。
- 親機は次に掲げる場所には取り付けしないでください。 ■玄関子機を取り付ける場合、取付枠をコーキングしないでください
- 電気・ガス・石油ストーブなどの暖房器具の真上やその付近。 ■内部に入った水を外部に流出させるための水抜き穴がふさがり故障の原因になります。
- 直射日光のあたる場所。 ■玄関子機は防雨形ですが直接ホースなどで水をかけないでください
- 製氷倉庫など0℃以下になる場所。 ■直接水をかけますと故障の原因になります。
- 風呂場など特に湿気の高い場所。
- 有害ガスやいろいろなほこりが特に多い場所。
- 水や薬品がかかるおそれがある場所。

## 各部の名称とはたらき



### ①呼出レバー

室内機を呼びたいとき、押し下げますとトレモロ音で呼び出せます。

### ②呼出音量調節つまみ

呼出音の音量を大、中、小の3段階に調節できます。

### ③呼出音量切替つまみ

②呼出音量の大、中、小に関係なく玄関子機1、2の呼出音が極小になります。

玄関子機からの呼出しを必要としない部屋で室内機を設置されている場合OFFに設定してください。

### ④送受器

モニタ画面で確認してから送受器を取りあげると、お話しできます。来訪者があった場合送受器をかけたままにしておくと、映像は約30秒で自動的にきれめます。

### ⑤モニタ画面

見やすい4インチブラウン管です。

### ■付属品

ねじ (M4×30).....	2本	壁掛金具.....	1個
木ねじ (3.8×20)....	2本		
お客様ご相談センター		一覧表.....	1部

### ⑥通話表示灯 (赤色)

送受器を取り上げると赤色に点灯します。

### ⑦モニタボタン

玄関周辺の様子を室内から見たいとき、ボタンを押すと約30秒間映ります。

### ⑧逆光補正ボタン

来訪者の顔が逆光などで見えないとき押ししてください。押すたびに画面の明るさが変わります。

### ⑨明るさ調節つまみ (BRIGHT)

室内の明るさに合わせて、見やすい映像に調節できます。

### ⑩濃淡調節つまみ (CONTRAST)

玄関の明るさに合わせて、映像の濃淡を調節できます。

### ⑪ACコード

# 接続のしかた

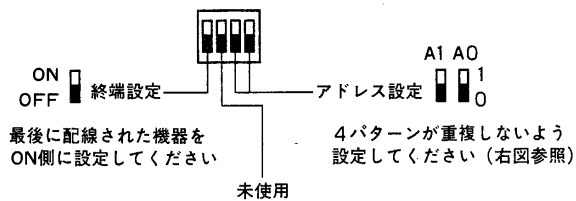
## ■接続上のご注意

- カメラ付玄関子機の配線は平行2芯ケーブルを使用することで良好な画像が得られます。同軸ケーブルは使用できません。
- 電池式のチャイム以外の配線を利用する場合は、配線にAC100Vが流れている場合がありますので、電気工事に資格者によってこれを取り除いてから接続してください。
- カメラ付玄関子機1台のみ使用する場合は必ず端子1、2に接続してください。2台目は端子3、4に接続します。
- 接続が完了し配線の確認をしてから電源を入れてください。
- 電源投入後、通話表示灯が一度点灯します。約3～10秒後に表示灯が消灯し使用可能になります。

## ■通達距離

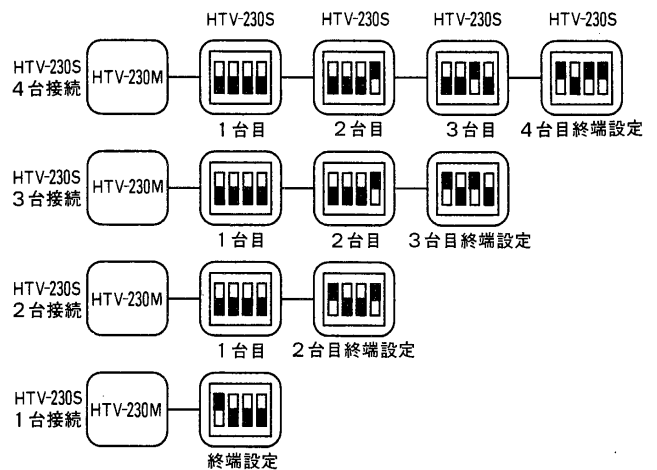
	φ0.65mm(0.3mm <sup>2</sup> )	φ0.9mm(0.65mm <sup>2</sup> )
親機-カメラ付玄関子機間	100m	200m
親機-カメラなし玄関子機間	200m	—
親機-増設親機間	50m(終端機)	—
親機-通話専用室内機	100m	—

## ■増設親機(HTV-230S)の設定

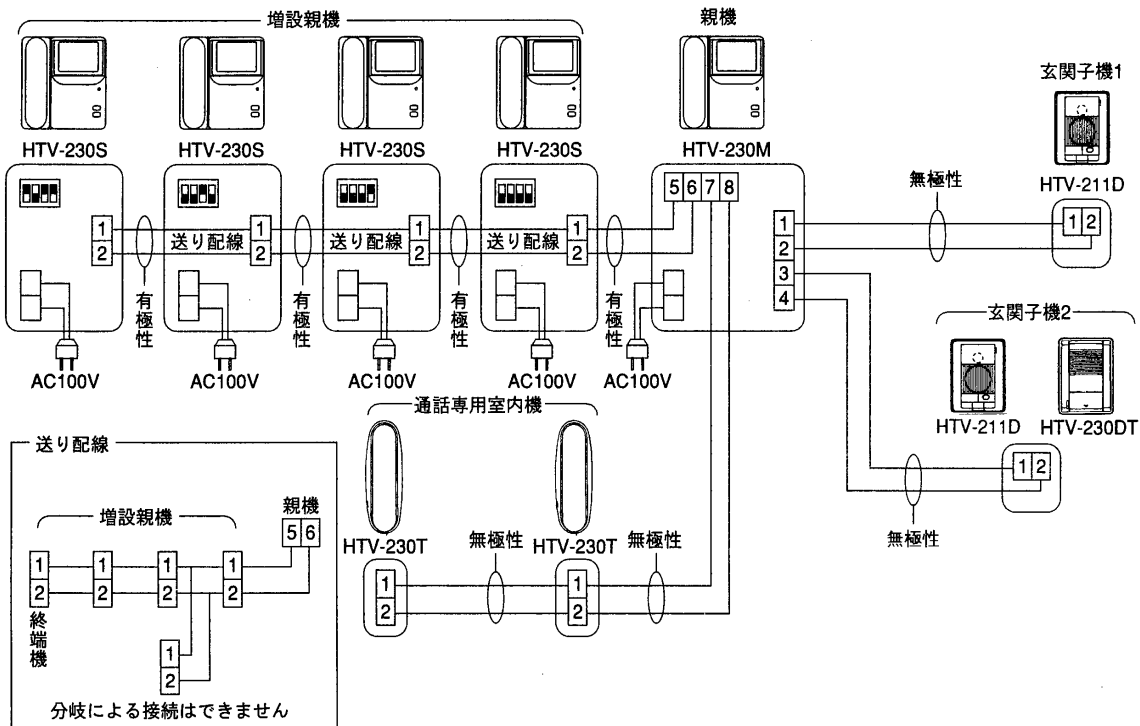


設置後の接続台数により底面のスイッチを既設分を含めて右図のように設定してください。

黒く塗りつぶした部分がディップスイッチのつまみの位置を示します。



## ■最大接続例



- 親機(HTV-230M).....このシステムには1台必要です。
- 増設親機(HTV-230S).....最大4台まで接続できます。
- 通話専用室内機(HTV-230T).....最大2台まで接続できます。
- 玄関子機1(HTV-211D).....カメラ付玄関子機が接続できます。
- 玄関子機2(HTV-211D、HTV-230DT).....カメラ付(HTV-211D)またはカメラなし(HTV-230DT)の玄関子機のどちらか1台接続できます。

# 取り付けかた

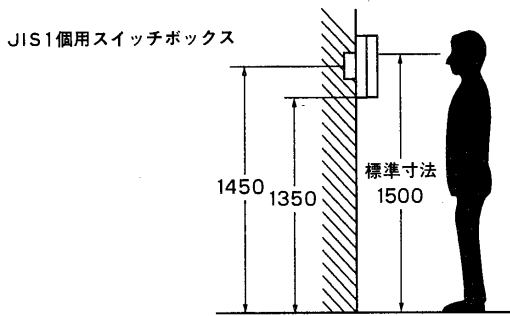
## ■親機取付上のご注意

- 次のような場所には設置しないでください。故障の原因となります。
  - ・ 直射日光や暖房器具などで高温となるところ
  - ・ 振動や衝撃の加わる不安定なところ
  - ・ 湯気、湿気、水、薬品、鉄粉等が発生したり、かかるおそれのあるところ

## ■親機の取付位置について

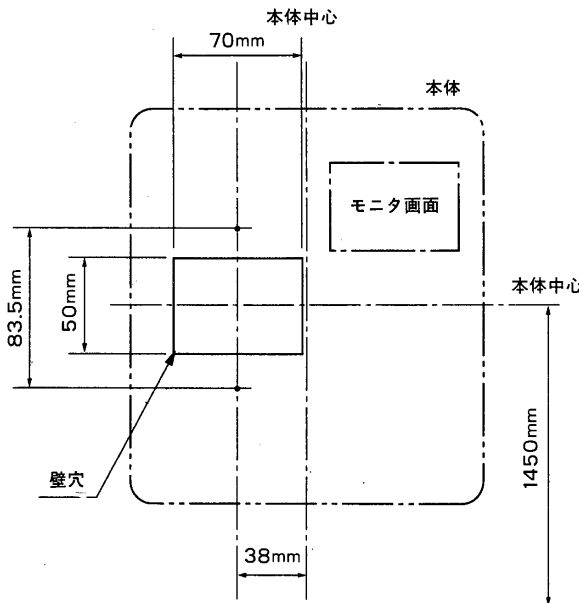
親機の設置高さは、モニタ部の中心が目の高さになる1500mmが標準です。この場合、壁掛け金具の中心（スイッチボックス中心）が床面から約1450mmの高さにくるように取り付けます。

## ●標準的な取付高さ

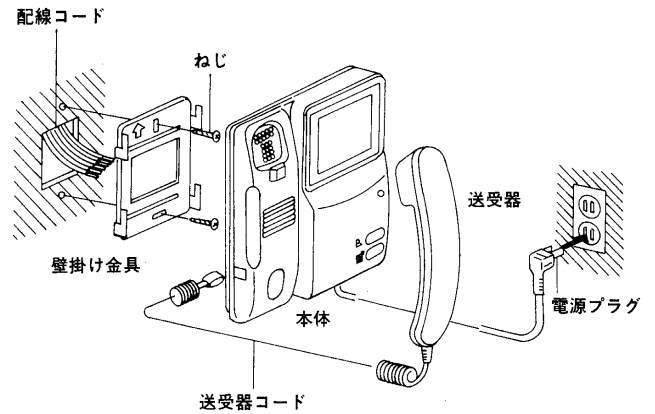


## ■取付寸法図

### ●壁に直付けの場合

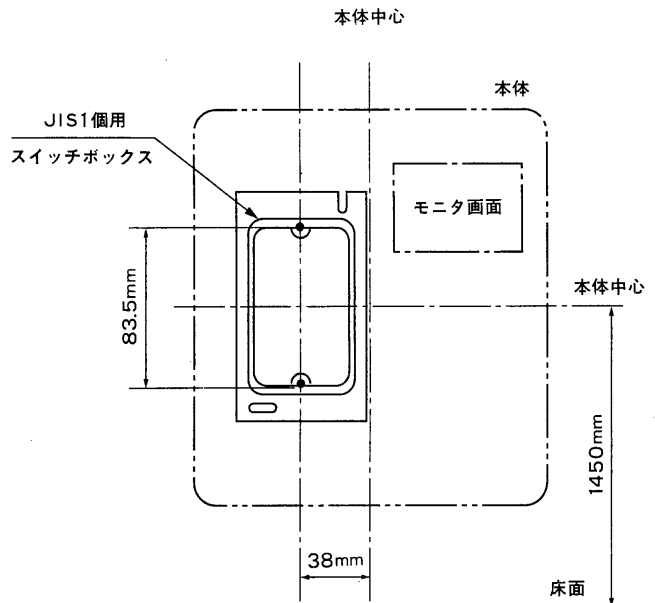


## ■親機の取付手順



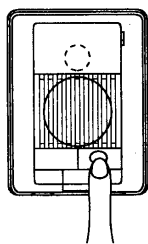
1. 親機本体裏側に付いている壁掛け金具をはずします。
2. 壁掛け金具を付属のねじで、JIS1個用スイッチボックスまたは壁面に取り付けます。
3. 配線コードを、親機裏面の端子に結線します。
4. 親機本体を壁掛け金具に取り付けます。
5. 送受器コードのプラグを本体に差し込み、送受器を本体に掛けます。
6. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

### ●JIS1個用スイッチボックス使用の場合

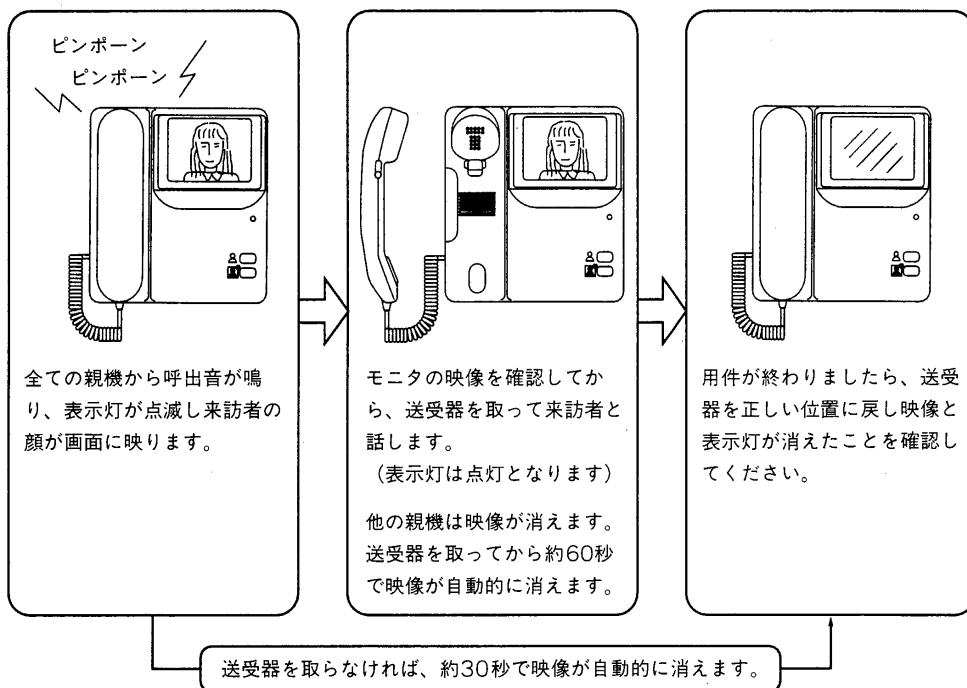


# 使いかた ①

## ■玄関子機 1 または 2 から呼ばれたとき



来訪者が、玄関子機のボタンを押します。

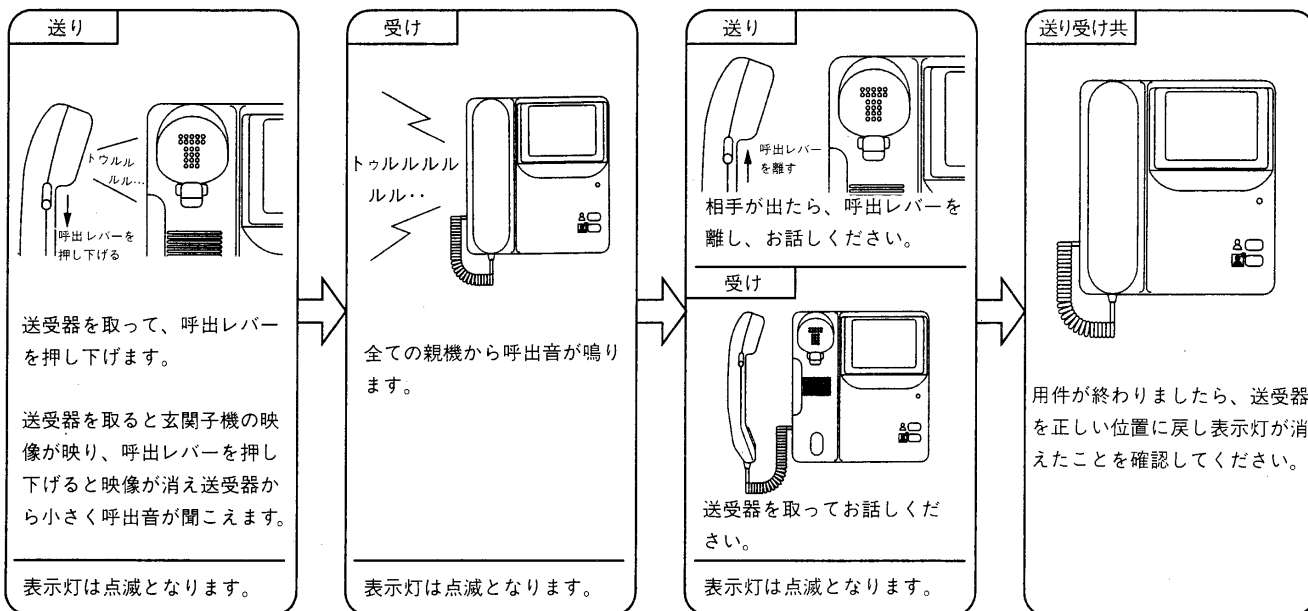


※呼出音について

玄関子機 1 の呼出音：ピンポーン ピンポーン

玄関子機 2 の呼出音：トゥルルル…ン トゥルルル…ン

## ■他の親機を呼び出し、通話するとき



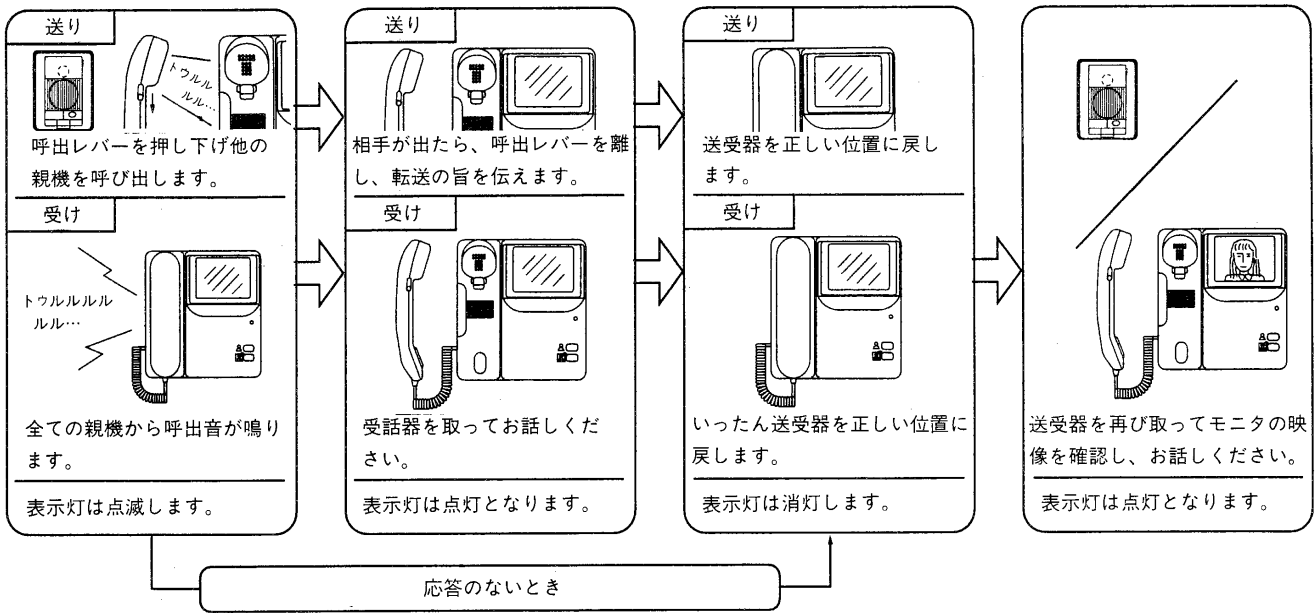
※呼出音について

親機間の呼出音：トゥルルルル…呼出レバーを押し下げている間鳴り続けます。

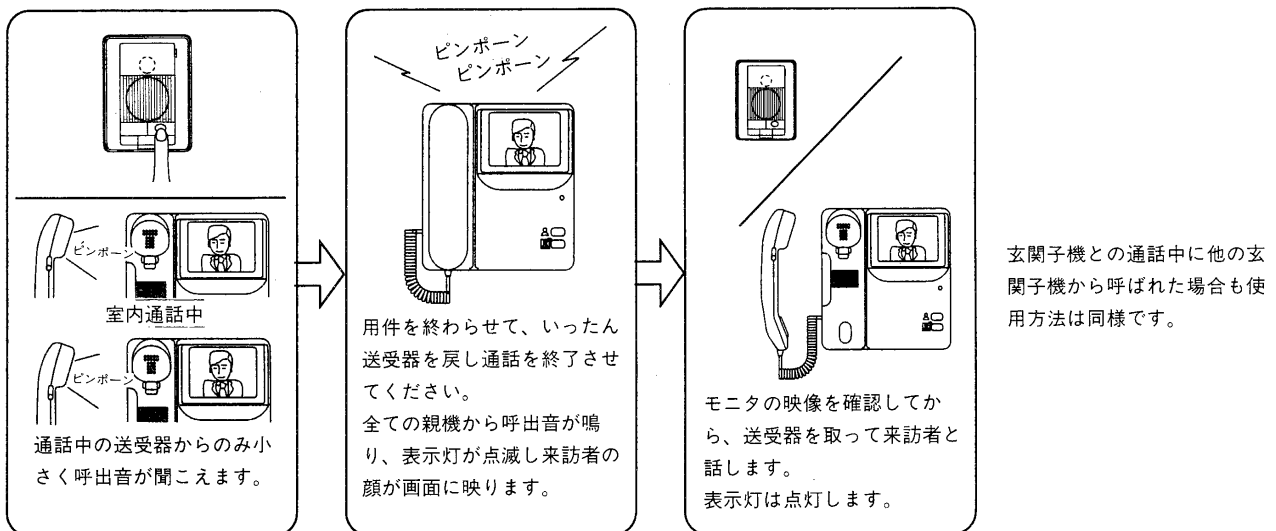
あらかじめ呼出音の回数（トゥルルルル トゥルルルル）を決めておくこと特定の相手を出せします。

## 使いかた ②

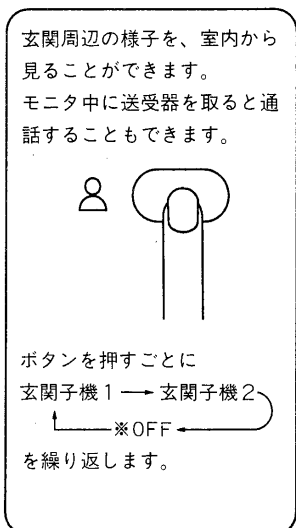
### ■玄関子機との通話を他の親機に転送するとき



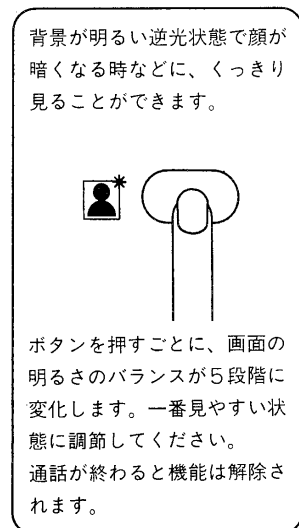
### ■室内通話中に玄関子機1または2から呼ばれたとき



### ■モニタ機能を使うとき



### ■逆光補正機能を使うとき



### ■タイマー時間一覧

玄関子機に呼ばれて送受器を取った場合	60秒
玄関子機に呼ばれて送受器を取らなかった場合	30秒
外の様子を見るためにモニタボタンを押した場合	30秒
送受器を取って玄関子機と通話する場合（送受器を持つため、外部へ音が聞こえます）	60秒

- 一連の使用方法は玄関子機1、2にカメラ付玄関子機 (HTV-211D) を接続した場合の説明です。玄関子機2にカメラなし玄関子機 (HTV-230DT) を接続した場合モニタ画面に映像は映りませんが、使用方法は同様です。
- 玄関子機2にカメラ付玄関子機 (HTV-211D) を接続した場合、玄関子機1 → OFF → 玄関子機1…を繰り返します。
- 増設親機 (HTV-230S) の使用方法も親機 (HTV-230M) と同様です。
- 通話専用室内機 (HTV-230T) の使用方法も親機 (HTV-230M) と同様ですが、モニタ画面、表示灯は付いておりませんので送受器を取って他の親機が使用していないことを確認してご使用ください。

※OFF：モニタ機能を終了します。  
映像が映ってから約30秒すると自動的に映像が消えOFFになります。

## 修理サービス

ご使用中に異常が生じたときはお使いになるのをやめ、親機の電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店（工事店）または、お近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。

なお、ご相談されるときは形名および、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

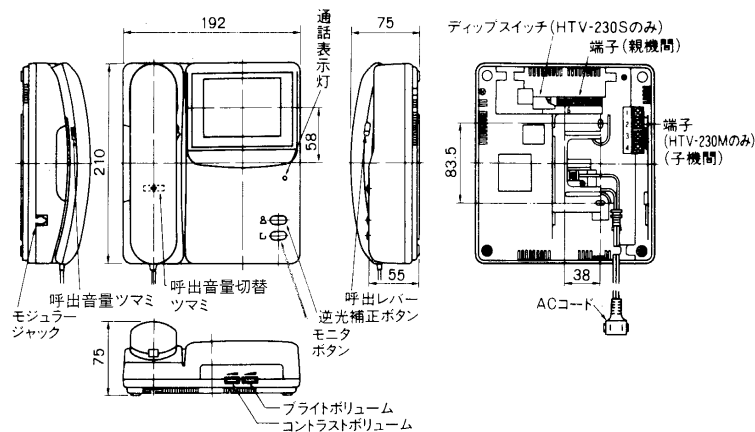
修理を依頼される前に、次の点についてもう一度お調べください。

- 呼出も通話もできないとき
  - 親機の電源プラグが抜けていませんか。
  - 親機や玄関子機の配線が端子からはずれていませんか。
- 呼出音が鳴らないとき
  - 送受器がはずれていたり、不完全な掛けかたになっていませんか。
- 映像が不鮮明なとき
  - 親機の逆光補正、画質調節がずれていませんか。
  - カメラ前面、モニタ表面が汚れていませんか。

## お手入れのしかた

- 本体はやわらかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは薄めた中性洗剤を浸した布をよくしぼってからふいてください。
- 本体をいためますので、シンナー、アルコールなどの薬品や化学ぞうきんでふかないでください。特にカメラ部やモニタ画面の透明樹脂部は薬品に侵されて曇りが発生する場合がありますのでご注意ください。

## 外形寸法図



## 仕様

### ■仕様 HTV-230M/HTV-230S

電源 定格 AC100V 50/60Hz

消費電力 HTV-230M 21W  
HTV-230S 14W

呼出信号 玄関子機 1 2点打電子チャイム音  
玄関子機 2 2点打トレモロチャイム音  
室内親機 トレモロ音(全機呼出方式)

通話方法 送受器による同時通話式

配線本数 親機-玄関子機間 2線(無極性)  
親機-増設親機間 2線(有極性)  
親機-通話専用室内機間 2線(無極性)

通達距離	平行2芯ケーブルまたは2芯コード	φ0.65mm(0.3mm <sup>2</sup> )	φ0.9mm(0.65mm <sup>2</sup> )
親機-カメラ付玄関子機間	100m	200m	
親機-カメラなし玄関子機間	200m		
親機-増設親機間	50m(終端機)		
親機-通話専用室内機	100m		

ディスプレイ 4形偏平CRT

映像視野 50cm離れて水平100cm、  
垂直66cmをカバー  
レンズ角度切換スイッチ 上方15°のみ

タイマー機能 被呼出映像 約30秒  
被呼出通話、映像 約60秒  
モニタ映像 約30秒

逆光補正 被写体が逆光のためよく見えないとき補正ボタンを押すたびに画面の明るさが5段階変わります。

モニタ機能 モニタボタンを押すことにより玄関子機の様子を映像でモニタできます。

調節機能 被呼出音 大中小3段階切換  
玄関子機被呼出 ON、OFFスイッチ  
ブライツネス 明暗連続可変  
コントラスト 濃淡連続可変

通話表示灯 赤色LED

周囲温度範囲 0℃～+40℃

外観材質 プラスチック(ホワイト)

質量 約1.7kg